

香川県広域水道企業団水道事業地区別意見交換会
令和3年度会議議事録（東讃ブロック統括センター）

会議日時

令和3年12月7日（火）午後2時から

場所

東讃ブロック統括センター会議室

出席人数

17人（委員9人、職員8人）

議題

1. 水道事業における取組等について

水道事業広域化の経緯や企業団設立後、10年間経過を目途に県下全域で水道料金を統一、組織体制や東讃ブロック統括センターの概要等を説明。

【意見】

料金の値上げを目指すことしか言わなかったが、値下げもあるか。

【回答】

基本的に料金体系については、給水人口の多い高松市の料金に合わせていくような形になる。料金に関しては今のところ白紙の状態である。

【意見】

漏水対応について、市道で管が裂けて水が噴き出したことがあり、休みで5時過ぎだったが、そのような時、ブロックセンターの方へ連絡したら転送されるか。

【回答】

漏水の連絡は、3つあるブロックセンターの電話番号にかけたら、24時間365日体制で人がいるので連絡がとれる。日曜日の夜間だったとしても宿直から職員に連絡がいく。

【意見】

人口減少に伴い使用水量の推移も減っているか。

【回答】

間違いなく減っている。人口減少と節水型の給水器具の普及により、1人が使う水の量が減っている。

【意見】

将来は縮小傾向になるか。

【回答】

給水エリアが決まっている限り、水道事業者には水道水を届ける責任がある。将来どうなるかわからないが、給水エリアが少しずつ縮小していく可能性もある。

【意見】

「節水」という言葉が施設とかに書かれてよく目にするので、水道は節水しなければいけないという頭だったが、資料を読んでみて、収入で賄うとしたら、節水をするのは違うように思えてきた。夏場も大丈夫か、香川用水もあるし。

【回答】

香川県は渇水の県で、水源がものすごく少ない。夏場は降雨量が少なくなるので、節水をせず水を使うと渇水の可能性が出てくる。半面、水を使わないと水道料金の収入が減るので、施設の維持管理費用が賄えなくなる。そのバランスがものすごく難しい。

【意見】

老朽化しているからいろいろ直さなければならないと書いているが、何年か経ったら必ず全部替えないといけないのか。

【回答】

水道管や浄水場にある機械は他の電気製品と同じように耐用年数がある。水道管は40年経つと漏水や破損する可能性が上がる。水道が普及しはじめてから40年から50年経っていて、今が一番ピークで増えている。更新をしなければならないのと、もう一つは南海トラフ地震が起きる可能性が非常に高いと言われており、耐震型の水道管に入れ替えて、地震が起きた時でも水道はライフラインとして守られるように更新事業を進めている。水道管で40年、電気系の機械はもっと短くて5年から10年、ポンプは15年ぐらいで、耐用年数に応じて新しくしていくのが基本である。

【意見】

料金を上げないとできない。

【回答】

はい。

【意見】

今、運営は企業団でしているが、いずれは民間委託ということを考えているか。

【回答】

今のところ民間委託しているのは、検針や浄水場の運転監視ぐらいで、それ以上のことは考えていない。今日の新聞で運営権を譲渡したことが載っていたが、一度全部渡すと何年後かに返ってきた時に、運営できる職員がいない場合があるので考えていない。企業団としては浄水場の委託はしているが、直営の浄水場もある。それは水道の職員の技術の継承ということで設けている。

【意見】

水道管の更新は、東かがわ市、さぬき市それぞれでどの程度更新が済んでいるか。

何割ぐらいが新しい水道管に更新済みか、データのものは。

【回答】

東かがわ市は更新率が非常に低い。全部で300km程度あり、この10年間に更新を迎える管路が50km程度で、進んで更新をしていかないといけない。本来水道管の更新時期は40年と言われているが、その中でも铸铁管はもう少し耐用年数が長く60年で、全ての管を40年で更新すると費用的に厳しいので、60年に延ばした状態で50km残っている。それは平成29年度時点で、1年年度が進むと更新しないといけない管路が増えてくる。東かがわでは昭和46年から49年の3年間に更新されている管が莫大にある。人的、費用的なもの考えると一気ににはできないので、50kmを10年間のスパンで少しずつやっていくという計算になる。さぬき市は今後10年間更新計画を進めていった場合、総延長が約550kmのうち22%程度が耐震化できることになる。

【意見】

下水の工事と併せて水道の古い管のやり替えをすることはあるか。

【回答】

下水道の事業や管路を更新する時、下水道は上水道の下にあり、入れ替えをするには上水道の管が邪魔になるので、耐用年数がきていなくても更新していく。

2. 東かがわ市における水道料金改定について

パンフレットに沿って料金改定の理由について説明をする。

【意見】

さぬき市の料金体系と今度新たに東かがわ市に適用される料金体系とは同じになるのか。

【回答】

さぬき市の水道料金には事業用という料金体系がない。家庭で使うのと会社や工場で使う料金体系が同じで、東かがわは用途によって料金体系を若干変えていた。基本料金の中に基本水量が含まれていて、事業用Cでは5,000トンまで基本料金が同じである。その関係で、全く同じにしてしまうと事業者の料金が一気に跳ね上がるので今回事業用を残した。それ以外の一般用の料金はブロックセンターになった絡みもありさぬき市の水道料金と揃えた。

【意見】

東かがわは計算するのに担当者は大変だった。こんなに分けたら間違いも起こるし。家庭用も安かった。

【回答】

そんな安い水道料金だったので、お金が無く更新できない状況だった。

【意見】

予算と決算書が無いのでよくわからないが、収入と支出の割合からみて、この料金が適正ではないように思う。おそらく賄えない部分が出てくるので、10年後にある程度のレベルにもっていくということは、段階的に上がっていくというような形で理解してよいか。

【回答】

令和4年に1回料金改定をする。その3年後の令和7年度にもう一度料金改定を予定している。その2回の料金改定の中である程度必要な額を賄っていくが、全くこれだけでは賄えないので、市から出資金という形で繰出をいただいている。年間3億円弱を毎年足しこみながら料金改定と併せてなんとか賄っていく。令和10年度になって統一料金になった時、市からの繰入金が無くなるので、それから先に関しては水道企業団の料金収入で賄っていく。

【意見】

独立採算制。

【回答】

はい。

【意見】

これを見ると事業者が上がっていく。

【回答】

1トン水を使うのに水道事業にかかるお金は一般も事業者も同じ。料金を同じにすると使用料の多い事業者の負担が増えると考えている。

【意見】

どんどん値上げされるのも困るが、水は生きるために大事なものだから、消費者としては頑張ってもらいたい。

【回答】

各々ですると料金の高騰が進んでしまうので、香川県は狭い県なので一つにして、その中で効率運営して賄うことが、企業団が発足した理由であり、水道料金も検討していく。生活に多大な影響を及ぼすような料金になった場合は、その先で考えていかないといけない。

【意見】

国からの補助は一切ないのか。

【回答】

令和10年までは事業に対して3分の1、国からの交付金がある。それを活用しながら更新事業を進めている状況である。

【意見】

料金が果てしなく上がる感じがした。

【回答】

ほかに広域化事業というのもあり、県内の浄水場などの施設を統合して、出るお金を少なくすることも考えている。

【意見】

水質は遠いところになっても大丈夫か。

【回答】

水道の水質基準は、日本はものすごく厳しい。口に入るものは途轍もなく厳しい基準がついている。水質管理課で化学的に満たせるよう常時水質検査をしていて、それに合致した水を届けている。

【意見】

小さい所を統廃合して、ある程度合理的、経済的に浄水場を整備するのはよくわかるが、近い将来間違いなく発生する南海トラフの地震がくると、統合しすぎて、統合後の施設が壊れたら、ものすごい範囲のエリアに影響を与えるのではないか。

【回答】

もともと水道企業団として統廃合する目的は経費を抑えること。いろんな浄水場を少なくしてかかる経費や人的なお金も抑えていける話もあった。東かがわ市の議会からも要望があり、全部の水源を無くして一つに統合し、一点集中した所が遮断されるとゼロになってしまいよくないと。水源に関しては予備水源という形で、常時は使わないけど使える状態で残していく方向で進んでいる。スタート時は県下全域で減らしていこうとしたが、さまざまな意見が出て、全て無くしてしまうと災害時に対応できなくなるから、ある程度の水源は予備水源、予備施設として残すような話で進んでいる。

【意見】

全県1団体になって、我々が住んでいる東讃の末端部分は、高松市の住民の方たちが使ってくれた水道料金の一部を頂いて整備するような形になると思うが、高松市の理解が得られているのか。

【回答】

その条件として、まず1つはスタート時点が違うと言われた。東かがわ市の水道料金は安いが更新事業が進んでいない。逆に言うと水道料金を高くいただいてきちんと更新しているところがある。それをいきなり統合して一つにしまうと、不公平感が出るので、10年間の期間を置いた。10年間で水道施設の整備をして、それに必要なお金は料金の改定なり、市からの繰出なりで賄うため、今回東かがわ市だけが水道料金改定することになった。そういうことで令和10年まで区分経理して

やりくりする。統一料金になった時には、不公平なところがあるかもしれないが、そういったことも含んで了承のうえで企業団として発足している。

【意見】

高松でも料金が上がる話はしているか。

【回答】

令和10年以降の話は分からない。全体的なことを考えて、料金収入で賄えるのであれば高松は料金が上がらないだろうし、東かがわの場合は今回すでに高松の料金を超え、令和7年度にもう一度上がり、高松の料金に揃えると令和10年以降は下がることになる。そういう検討が来年から始まる。人口の半分以上が高松なのでその料金が中心になるだろう。

【意見】

令和10年の新たな料金の検討に入るとのことだが、決定機関が県になっているが、基本的に税金の投入ということを考えるか。

【回答】

令和10年以降は、水道料金収入だけで賄うことが大前提で、賄える料金体系を考えていくと思う。企業団議会が決定機関になっているので県の決定機関ではない。各市町から代表で出てきた議員で議会を作っていて決定している。各市町に統一料金の説明は必要となってくるし、理解も頂かないといけない。

【意見】

人口減少に伴い空き家が多くなっているので、廃止が多いのでは。

【回答】

廃止というか休止が多い。メーターはあるが料金が発生しない状態。廃止はメーター撤去して水が出ない状態のことで、再度使いたいときは加入金が必要になる。